

JAL(鳥取三津子新社長)は争議の早期解決を決断しろ!

JAL 争議支援学習決起集会



JAL 不当解雇争議

日本航空は、2010年12月31日の大晦日に165名のパイロットと客室乗務員を不当にも解雇しました。それからすでに13年が経過しても、未だに全面解決には至っていません。当時の稲盛会長自身が「解雇は必要なかった」と認めていたのに、です。

今年1月2日、羽田空港でJAL機と海保機の衝突事故が起きました。この事故は、人為的なミスが原因なのか、労働強化の末に起きた事故なのか、検証が行われています。しかし、CAの適切な判断によって被害は最小限に食い止められました。空の安全と争議の早期解決を考えていきます。

内容

- ・ JAL機と海保機の衝突事故、再発防止を考える
(国土交通労組・佐藤副委員長)
*元 JAL 機長や元 CA から見えた問題点
- ・ 闘争団から争議解決に向けた決意表明
(JHU・近村乗員争議団長・平野客乗争議団事務局次長)

※集会終了後、会費制(3000円)で懇親会も予定します。
先着10名まで (要予約)

4月19日(金) 午後6時30分 開会

労働会館本館 「第1・2会議室」

参加費：無料

主催：JAL解雇撤回愛知の会

連絡先：国労名古屋地本 052-452-0326

